

行動規範



マースクの存在意義

マースクの価値観

マースクの行動規範

「人々に信頼されることが基本理念です」

Mærsk Mc-Kinney Møller (1913–2012)

目次

はじめに	4
マースク行動規範の基盤となるもの	5
マースクの原動力となる存在意義	6
マースクを長年導いている価値観	7
ステナビリティへの取り組み	8
「コミット」の枠組み	9
適用範囲	10
マースクの責任	11
通報	12
行動規範を活用して正しい判断をする	13
マースクの責任ある企業行動基準	14
社員を大切にします	15
安全衛生、セキュリティ	16
労働者の権利	17
報酬	
結社の自由と団体交渉権	
強制労働	
児童労働	
公正な手続き	
勤務時間	
差別	
ハラスメント	

法律を守り、誠実に仕事をします	19
汚職防止	20
贈答品、接待、歓待	
寄贈、資金提供、慈善寄付	
第三者	
競争法の遵守	21
制裁と輸出規制	22
制裁	
輸出規制	
利益相反	23
パートナーや利害関係者とは責任を持って関わります	24
政府との仕事	25
寄贈、慈善寄付、資金提供、地域社会投資	25
ソーシャルメディアの業務利用	25
マースクと他者の資産を保護します	26
サイバーセキュリティ	27
データ倫理とデータプライバシー	28
データプライバシー	
知的財産	29
環境を保護します	30
脱炭素化	31
生態系の健全性と生物多様性	31
廃棄物と汚染	32
資源消費量の最小化	32
強力な財務管理を維持します	33
不正防止	34
マネー・ローンダリング防止	35
インサイダー情報	35
責任ある税務	36



はじめに

A.P. モラー-マースク社CEO、Vincent Clercへのインタビュー

なぜマースクには行動規範が必要なのですか？

私たちは、マースクの存在意義と価値観、そして国際的な原理と基準に対するマースクの責任に沿った意思決定を行うにはどうすればよいか、社員を指導したいと考えています。

簡単に言うと、マースクの行動規範では、私たちが企業として、同僚、お客様、サプライヤー、地域社会、当局、そしてその他の利害関係者とのように関わるかについてのグローバルスタンダードを定めています。これは、皆さんがどのマースクのブランドで働いているかやどこに住んでいるかは関係ありません。社員はこの行動規範に従い、日々の行動の指針としなければなりません。

また、この規範では、お客様、サプライヤー、その他外部の利害関係者がマースクに期待できることについても明確にしています。

法律を参照するだけで十分ではないでしょうか？

そんなことはありません。マースクで働く人が法律を遵守するのは当然のことで、これは言うまでもないことです。ですが、マースクの行動規範には、法律以外にも、マースクの存在意義と価値観、社員とお客様に対する責任、国連グローバル・コンパクト、そしてマースクが直面する経済問題、社会問題、環境問題に基づく指針が含まれています。

この規範では、現地の法律がより低い基準を定めている場合でも、全社員に遵守を求める最低限の要求事項を定めています。

マースクの存在意義と価値観という言葉がありました。この規範とはどのように関連するのですか？

経済、地政学的状況、市況が急速に変化している昨今の世界において、マースクが持続可能な方法で成長し続けるには、マースクの存在意義と価値観が重要になります。

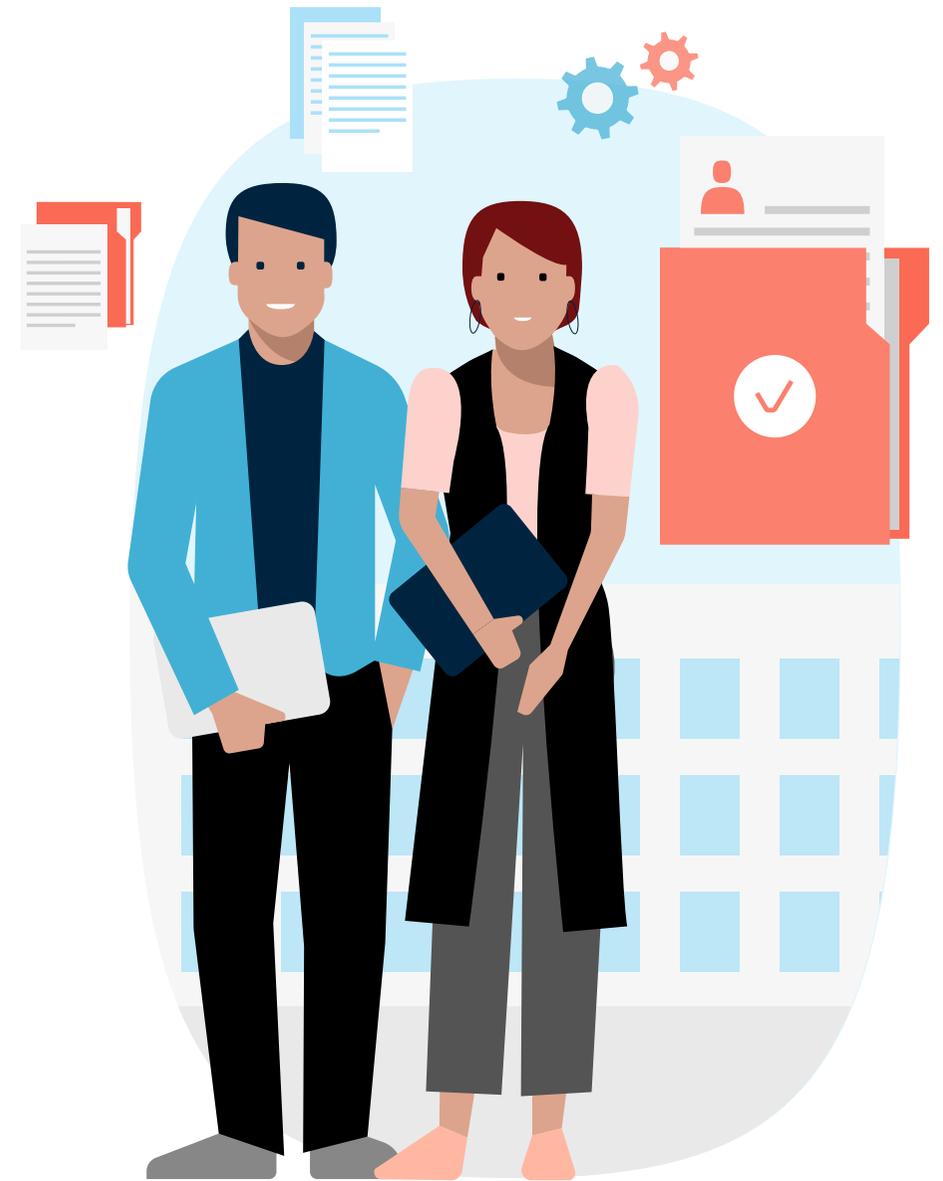
成長とこの規範に記載されている業務遂行の基準との間に矛盾はないということを、全員が理解していることが、各自にとって重要なことです。実際、マースクの存在意義で説明されているように、成長と責任ある業務遂行は相互に強化し合うものです。そして、長い目で見れば、1世紀以上にわたってマースクと共にあり続けたマースクのコアとなる価値観が、今後におけるマースクの卓越性の維持を保証してくれるのです。この規範は、マースクがこの卓越性を実現し、持続させていくための指針となる文書です。

この規範は、遭遇しうるすべての状況を取り扱っているのでしょうか？

いいえ、この規範は、考えられるすべてのシナリオを取り扱っているわけではありません。ある状況下でマースクの基準をどのように適用すればよいか分からない場合は、上司の指示を仰いでください。何かがおかしいと思ったら、適切なルートで懸念を提起してください。正しい行動に対してペナルティを科すことはありません。疑問を提起して通報するという事は、正しいことを行い、マースクの誠実な企業文化に貢献することになります。

マースク行動規範の 基盤となるもの

マースクは、適用されるすべての国際法、国内法、規則、そして規制を遵守することに尽力しています。しかし、マースクの規範で定める要求事項は、それ以上のものに基づいています。



マースクの原動力となる存在意義



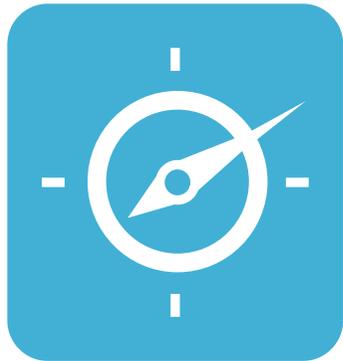
世界を統合して人々の生活をより豊かにしていく

マースクの存在意義は、私たちが毎朝起床する理由のことで、ワクワクする新しい1日を楽しみにすることです。これは、マースクの利害関係者のために価値を創造するというだけでなく、私たち全員が共有する世界に何を貢献するのかということでもあるのです。つまり、お客様に満足していただくこと、優れた人材を確保して維持すること、そして地域社会で信頼できる大切な一員となることです。

マースクを長年導いている価値観

マースクの存在意義が「どうして」なら、マースクの価値観は「どのように」になります。これはマースクの道徳的規範で、個人として、あるいは企業としての正しい行動についての基準を定めたものです。

マースクのコアとなる5つの価値観は、1世紀以上にわたってマースクのDNAとして受け継がれています。2003年、Mærsk Mc-Kinney Møllerは引退する際に、自らそれを書き留め、引き継いだのです。



持続的ケア

今日を大切にしながら、積極的に明日に備える

今日の問題を解決するときも、未来を築く機会を模索するときも、あらゆる行動について、予測し、革新を行い、改善に努めます。



謙虚

他者のための価値創造に向けて、他者に耳を傾け、他者から学び、そして他者と分かち合う

私たちは、好奇心を持ち続け、他者の視点を偏見を持たずに尊重し、仲間同士、お客様、そしてマースクを取り巻く世界から学ぼうと常に努力します。私たちは一緒だからこそ成功できるのです。



誠実

言葉は私たちの絆です

私たちは日々、お客様やパートナーの信頼を獲得しています。たとえ困難であっても、私たちが約束を守り、正しいことをすれば、お客様やパートナーは信頼してくれます。私たちは率直かつ正直に話し、常に誠実に行動します。



人材

社員に適した環境を

私たちは真の存在意義で結ばれ、成長、発展、そして期待を上回る機会を生み出します。私たちは、社員が安心して、自分の価値を実感でき、力を与えられていると感じることができる、多様でグローバルな職場として協力し、目標を達成します。



ブランド

マースクを象徴するすべてのもの

マースクのブランドは信頼と卓越性に対する約束であり、責任でもあります。私たちは全員、マースクというブランドを代表して守り、より持続可能で統合された世界を目指して努力する大使なのです。

サステナビリティへの取り組み

マースクでは、責任を持って持続可能な事業の遂行に尽力しています。環境と社会のサステナビリティは、マースクの事業戦略において必要不可欠な要素です。これは、エンドツーエンドのコンテナ物流におけるグローバルインテグレーターとして、陸、海、空のお客様に提供するサービス、そして商品の移動という枠にとどまらず、社会に利益をもたらす公平かつ公正な競争環境を確保するために努力する方法に組み込まれています。

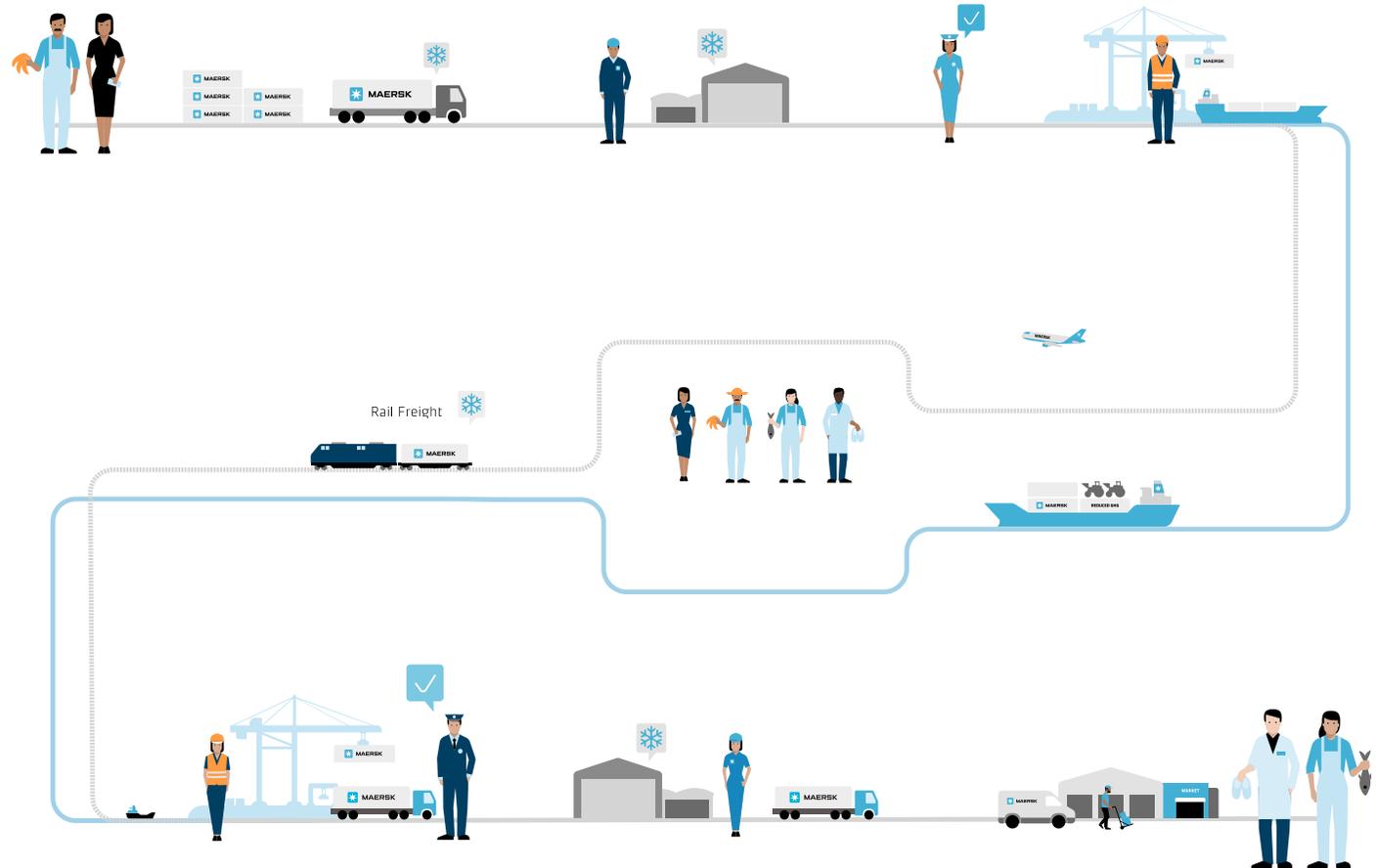
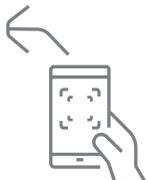
マースクはグローバル企業として、事業を展開する社会と環境に対して積極的な責任を果たします。これを実行するために、マースクでは、国際基準と国連グローバル・コンパクトの原則を指針としています。

マースクでは、「世界人権宣言」と国際労働機関 (ILO) の「労働における基本原則と権利に関する宣言」の原則を尊重しています。また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」と「OECD多国籍企業行動指針」の実施にも取り組んでいます。

マースクでは、バリューチェーンにいる人々への悪影響の原因となること、またはその一因になることを避けるために常に注意を払い、人権デューデリジェンスの方針とプロセスを通じて人権への影響を管理する方法について継続的に見直しを行っています。

人権尊重に関するマースクの取り組みについては、「人権方針に関する声明」で詳しく説明しています。

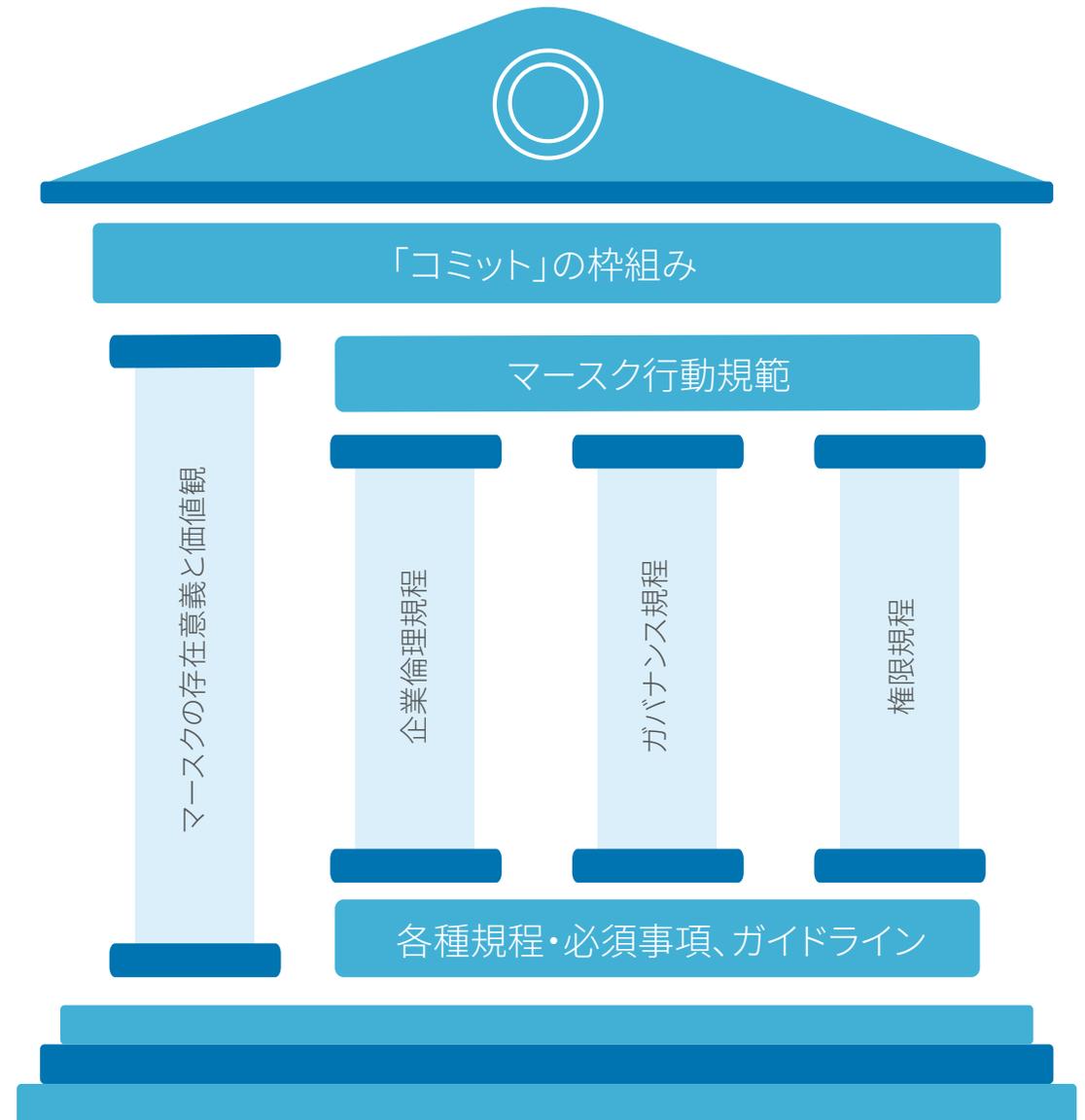
詳細については、[こちら](#) をクリックするか、このコードをスキャンしてください。



「コミット」の枠組み

この行動規範で定めている基準は、マースク社内ガバナンスの枠組み「コミット」の一部である「企業倫理規程」によって支えられており、この規程で詳しく説明されています。この規程は、全社員が遵守しなければならないものであり、マースクのイントラネットで確認できます。

「コミット」には[こちら](#) (マースクのイントラネットへのアクセスが必要) からアクセスするか、このコードをスキャンしてください。



適用範囲

マースク行動規範は、海上または陸上のオフィス、ターミナル、倉庫、その他の施設で勤務するマースク社員全員に適用されます。

この行動規範は、マースクのために行動する契約社員、およびマースクの管理下にある合併会社の社員にも適用されます。



マースクの責任

全社員

- この行動規範を読んで理解し、遵守すること。
- この行動規範にある決定事項、行動、または解釈についてわからない場合は、助けを求めること。
- この規範に沿っていないと思われる活動については、通報して報告すること。通報しても、ペナルティが科されることはありません。

リーダー

- この規範についてチームで話し合い、メンバーが日常業務に適用される基準を理解していることを確認すること。
- 社員に対してだけでなく、マースクやお客様のために働いている第三者に対しても、言葉と行動の両面から模範を示すこと。
- チームにはお互いにオープンで正直に話せるコミュニケーションを促進し、メンバーには疑問や懸念の提起を奨励し、問題が解決したときにはメンバーにその旨を知らせること。
- 懸念には耳を傾け、これを尊重し、秘密を守り、報復を防ぐことで対処すること。
- 内部通報制度など、社員が通報する際に利用できるさまざまなルート社員に周知すること。

管理下にある合併会社

- この行動規範に従うこと。

管理下のない合併会社

- 業務遂行に対してマースク行動規範と比較できる独自の原則を持っていること、またはマースク行動規範に従っていることを証明する必要があります。

マースクの代理となる第三者

マースクのサプライヤー行動規範に従うこと。



通報

マースクでは、通報できる文化を育み、マースクに雇用されているか否かを問わず、疑問や懸念を提起する人からの意見を歓迎します。ある状況下でマースクの基準をどのように適用すればよいか分からない場合、あるいは違反の可能性が疑われる場合は通報することができ、また通報する必要があります。



通報ルート

通報できる方法は複数あります。最も安心できるルートを選んでください。どのルートを選べばよいか分からない場合は、マースクのオンブズ機能が次のステップについてアドバイスします。

発言する方法:

- 皆さんの上司
- 人事部、コンプライアンス部、法務部の同僚
- マースク内部通報制度

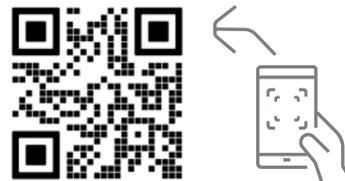
何かがおかしいと感じるときに通報することは勇気のいることです。通報することで気まずさを感じたり、不安に感じたりすることがあるのは理解しています。そのため、マースクではすべての報告を極秘扱います。また、マースク内部通報制度を通じて匿名で報告することもできます。



内部通報制度

この内部通報制度は、セキュリティで保護された外部のウェブサイトにホストされており、24時間365日、オンラインまたは電話で利用でき、多言語に対応しています。匿名で報告することができ、すべての案件は、氏名提供の有無にかかわらず、極秘扱いとなります。

マースク内部通報制度へのアクセスは、[こちら](#)をクリックするか、コードをスキャンしてください。



報復禁止

マースクでは、通報によって正しいことを行った人に対する報復は一切容認しません。以下の行為に対して、不利益を被ることはありません。

- 実際の不正行為、または不正行為の可能性について誠実に懸念を提起する行為。
- 懸念を提起する人を支援する行為。
- 調査に協力する行為。

報復は、この規範とマースクの価値観に違反するものです。報復を受けていると思ったら、通報してください。報復に関するすべての申し立てについては極秘に調査を行い、適切な場合は、懲戒処分を行います。処罰を受けることや職を失うことへの恐れが、通報の妨げにはなりません。

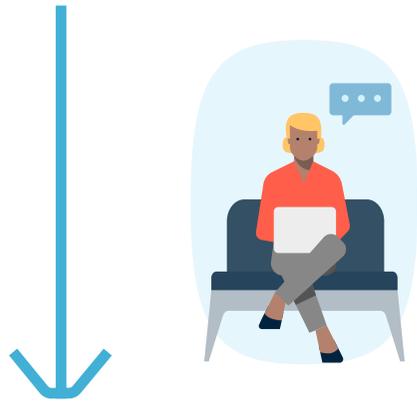
行動規範を活用して 正しい判断をする

皆さんはマースクの社員として、日々判断をしています。大半は些細なことで、重要ではないことだと思います。しかし、まさにこのような些細な判断こそが、マースクの存在を定義するものになるのです。

正しい判断をすることは、必ずしも容易なことではありません。必ずしも公平とは思えないかもしれません。すぐには報われず、現状に立ち向かう必要があるかもしれません。



困難な状況や不明確な状況に直面した場合は、どのように最善の判断をするのでしょうか？



ステップ1 - 立ち止まる

その状況によって不快に感じたり、直感的に何かおかしいと感じたりしますか？立ち止まって考えます。

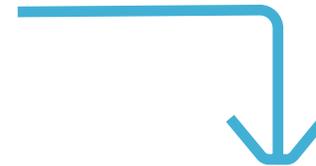
ステップ2 - 考えて耳を傾ける

関連する事実をすべて把握していますか？マースク行動規範にあなたを導く基準がありますか？マースクの存在意義と価値観を思い出します。

- これらの行為は合法で、公平かつ誠実なのですか？
- 後から、自分自身についてどのように感じるでしょうか？
- この問題がメディアや当局に報告されたら、どのように思われるのでしょうか？

周囲の会話に耳を傾けます。以下のフレーズを耳にしたり、口にしたりすることがあれば、倫理的なジレンマに直面している可能性があります。

- 「誰にもばれない」
- 「やり遂げさえすれば、やり遂げる方法はない」
- 「みんなそうしているから、大丈夫なはず」
- 「心配しないで。この辺のやり方だから」
- 「知りたくない」



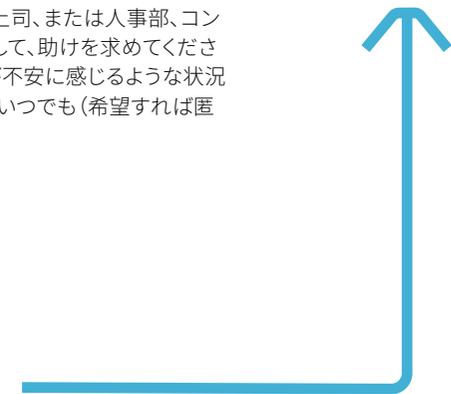
ステップ3 - 他者に相談

どうすればよいか分からない場合は、上司、または人事部、コンプライアンス部、法務部の担当者に連絡して、助けを求めてください。マースク内の人物に話しをすることが不安に感じるような状況であれば、内部通報制度を通じて懸念をいつでも（希望すれば匿名で）伝えることができます。

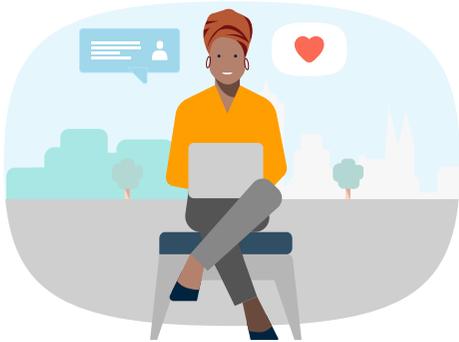


ステップ4 - 行動して学ぶ

十分な情報を得た上で判断します。これは「正しい」選択肢と「間違った」選択肢の間から選択する単純なものかもしれませんが、2つの「正しい」から判断する難しいものかもしれません。判断から得られた結果を評価します。結果はどうだったのか、またその状況から何を学びましたか？



マースクの責任ある企業行動基準



社員を大切にします



マースクと他者の資産を保護します



パートナーや利害関係者とは責任ある関係を築きます



法律を守り、誠実に仕事をします



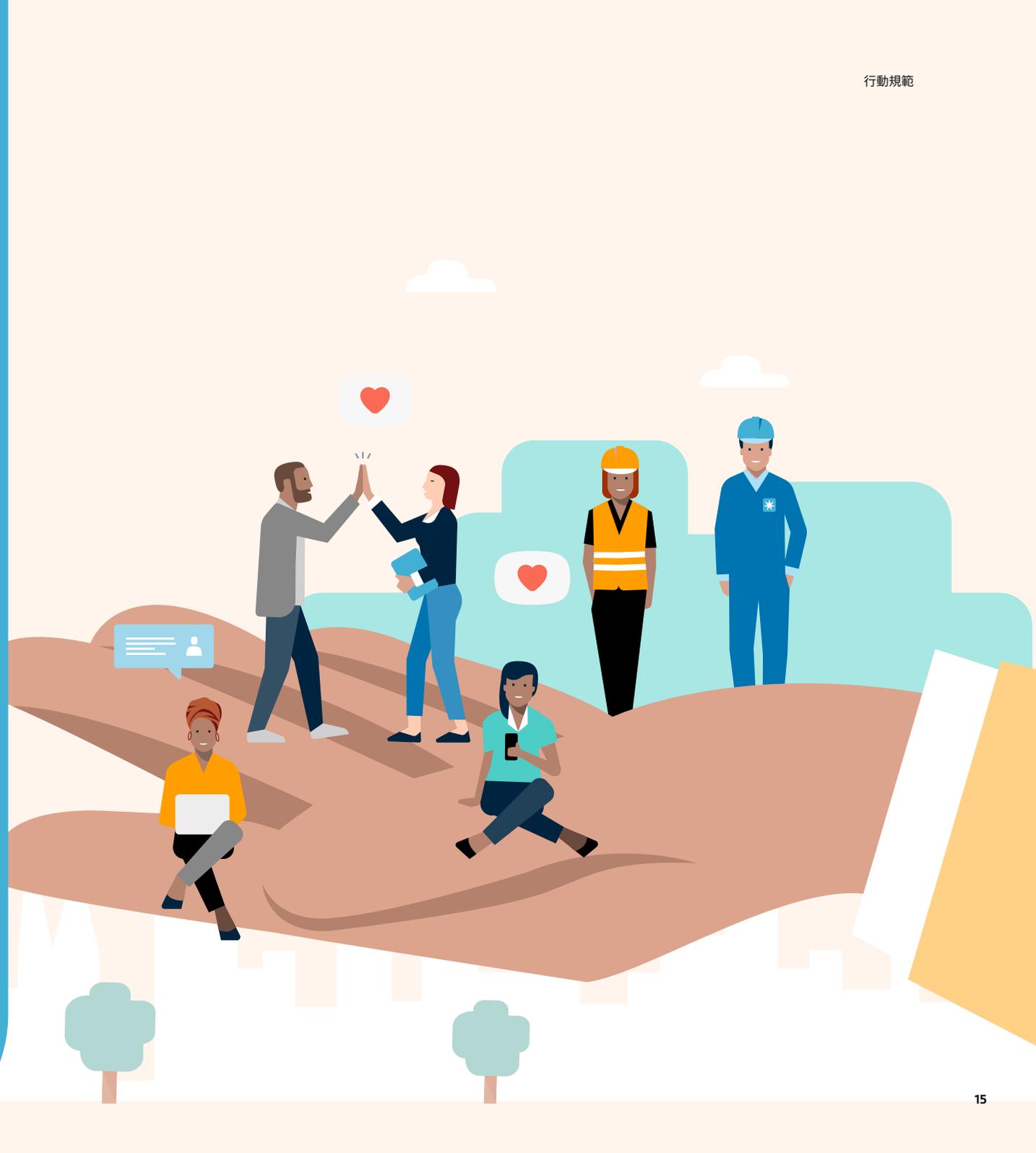
環境を保護します



強力な財務管理を維持します

社員を 大切にします

マースクでは、社員にとって適切な環境を作り、実績、スキル、個性に基づいて適切な候補者を確実に選びます。社員を公平に扱い、少なくとも、現地の法令に従った状況下で雇用します。マースクの職場では差別やハラスメントがあってはならず、社員の健康とウェルビーイングを支援する安全で安心できる職場の提供に取り組んでいます。



安全衛生、セキュリティ

マースクでは、安全で健康的、そして安心できる職場の提供に日々努力しています。法律や契約上の要求事項に従うだけでなく、日常の業務や意思決定を行う際に、安全衛生、セキュリティに関するリスク管理も組み込んでいます。

私たちひとり一人が、社員の安全衛生、セキュリティに影響を与える受け入れ難いリスクを特定して把握し、そして軽減する責任を負っています。リスクが排除できない場合は、許容できるレベルまで軽減します。

安全とセキュリティは、委託先やビジネスパートナーを評価して選定する際の要素であり、マースクには、委託先やビジネスパートナーの安全とセキュリティに対する意識を促進する責任があります。

安全衛生、セキュリティ、そしてレジリエンスに対するマースクの取り組みは、4つの原則に支えられています。

- 私たちは丁寧に指導します。リーダーは現場と関わり、耳を傾け、対応します。
- 私たちは学び、適応します。深刻なリスクには対策を講じ、改善を推進します。
- 社員は専門家です。お互いに学び合いながら、企業文化を育てます。
- 私たちには回復力があります。逆境の前でも、最中でも、後でも目標に向かって前進します。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 全員にとって安全で安心できる職場環境を作り、維持すること。
- 職場と職場の周辺にあるリスクを把握して、適切な管理と予防に取り組み、全員の安心安全を維持すること。
- 日々の業務の中で得られる成功体験から学ぶこと。
- 仕事は計画通りに進むことはほとんどなく、仕事が安全かつ確実に完了できるのは、社員の工夫とスキルによるものであることを認識すること。
- 模範を示して指導を行い、エンゲージメント(対話)と権限委譲によって信頼を育み、仕事を始める前に全員の意見に耳を傾け、検討すること。



労働者の権利

労働者の権利は、人権の重要な一部です。労働者の権利は、マースクと社員の関係において重要な役割を担っています。

報酬

マースクでは、社員の基本的なニーズを満たす上で賃金は不可欠なものであるということを認識していることから、少なくとも現地の法律で義務付けられている最低賃金と法定福利費を支払います。

結社の自由と団体交渉権

マースクでは、社員の結社の自由、各自が選んだ組織への参加、そして自由に団体交渉を行う権利を尊重しています。また、社員が集団代表制を拒否する権利も認めています。マースクは、法的に認められた労働組合が自由に選んだ社員の代表との団体交渉に応じることを約束しています。

強制労働

マースクは、いかなる形態の強制労働または非自発的労働も行わず、非自発的労働のリスクを生じさせる可能性のある行為も行いません。

児童労働

マースクは、現地におけるすべての法令を厳格に遵守し、いかなる場合においても、15歳未満の児童を雇用したり、16歳未満の児童を海上での業務に従事させたりしません。マースクは、18歳未満の児童に危険な作業や夜間作業を許可しません。

公正な手続き

マースクは、会社の方針および団体協約で定められている公平な懲戒処分、苦情処理手順、および解雇手順に従います。

勤務時間

マースクは、勤務時間、時間外労働、休暇、最低休憩時間に関する適用法令および関連する団体協約の完全遵守を保証することに全力を尽くしています。長時間の時間外労働を組織的に行わないことが、会社の方針です。時間外労働は、各社員の雇用条件、適用される規制および関連する団体協約に従って適切に補償されます。



差別

マースクの成功は、国籍、性別、世代、宗教、障がい、性的指向、民族、考え方の違いを超えてお互いに関わり合い、協力し合えることができるかによって左右されます。そのため、マースクではいかなる差別も容認しません。

差別は、人種、性別、性同一性、性的指向、年齢、言語、宗教、障がいなどに基づく不平等な扱いなど、さまざまな形態で行われる可能性があります。

マースクでは、新しい考え方が奨励され、新しいスキルやさまざまな人材が活用される、包摂性のある文化を築くことを目指しています。つまり、多様性を尊重し、社員には革新と協力を行うための権限を付与し、私たち全員が1つのグローバルチームとして共に目標を達成することを支援する必要があります。

ハラスメント

全社員には、攻撃的で不適切な行動のない環境で働く権利があります。ハラスメント、暴力、いじめは、マースクの文化には存在しません。

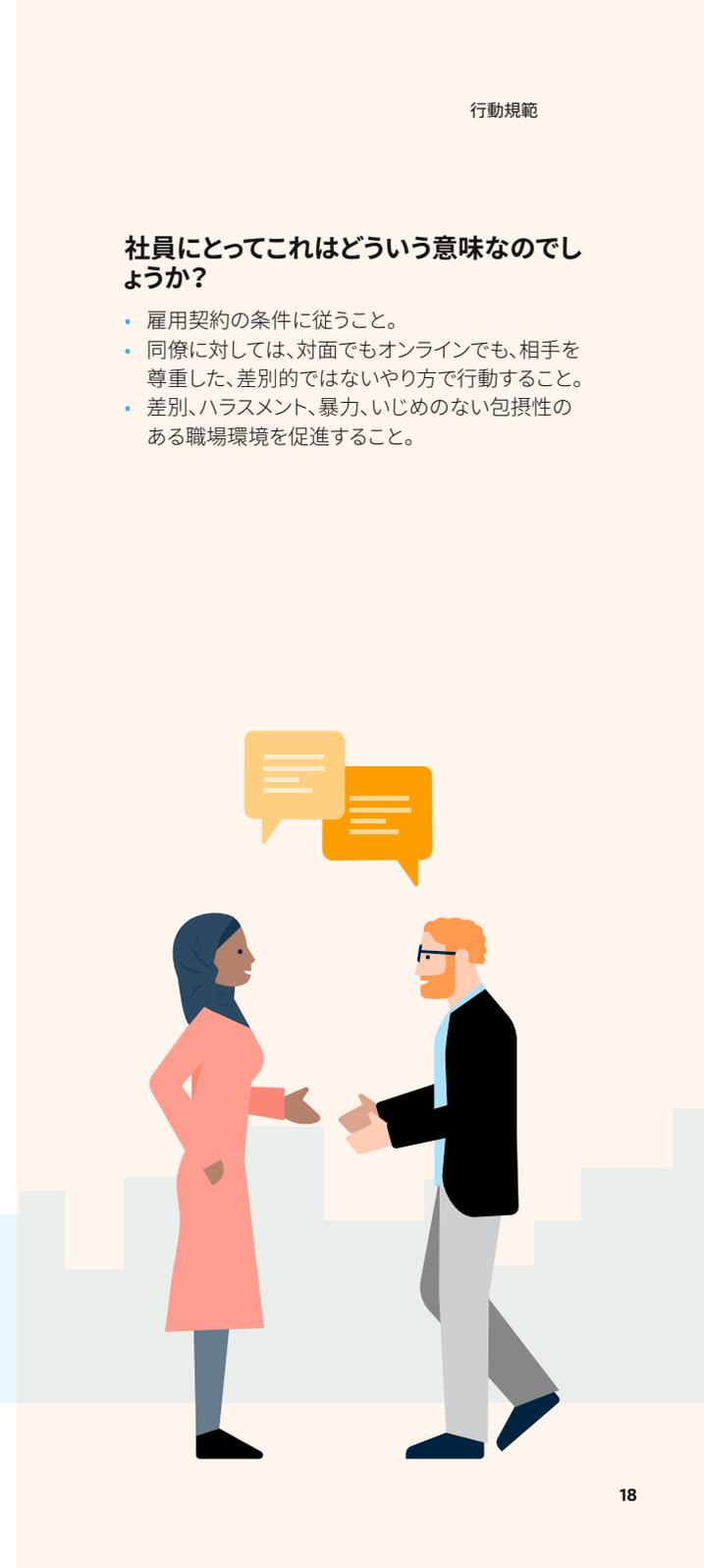
ハラスメントとは、相手を不快にさせたり、脅威や屈辱を感じさせたりする好ましくない行動のことです。好ましくない行動の例としては、攻撃的な冗談や悪口、望まない身体的接触、暴力または暴力による脅威、脅迫、冷やかす、侮辱、不快な物や写真などがあります。

ハラスメントは、職権乱用など、さまざまな状況で発生する可能性があります。これは、敵対的な職場環境を作り、社員の一般的なウェルビーイングに影響を与えます。

社員の中には、自分の行為が攻撃的で、他者に悪影響を与えているという事実に気付いていない人もいるかもしれません。そのため、私たちは自分の言動が同僚に与える影響について常に考えなければなりません。

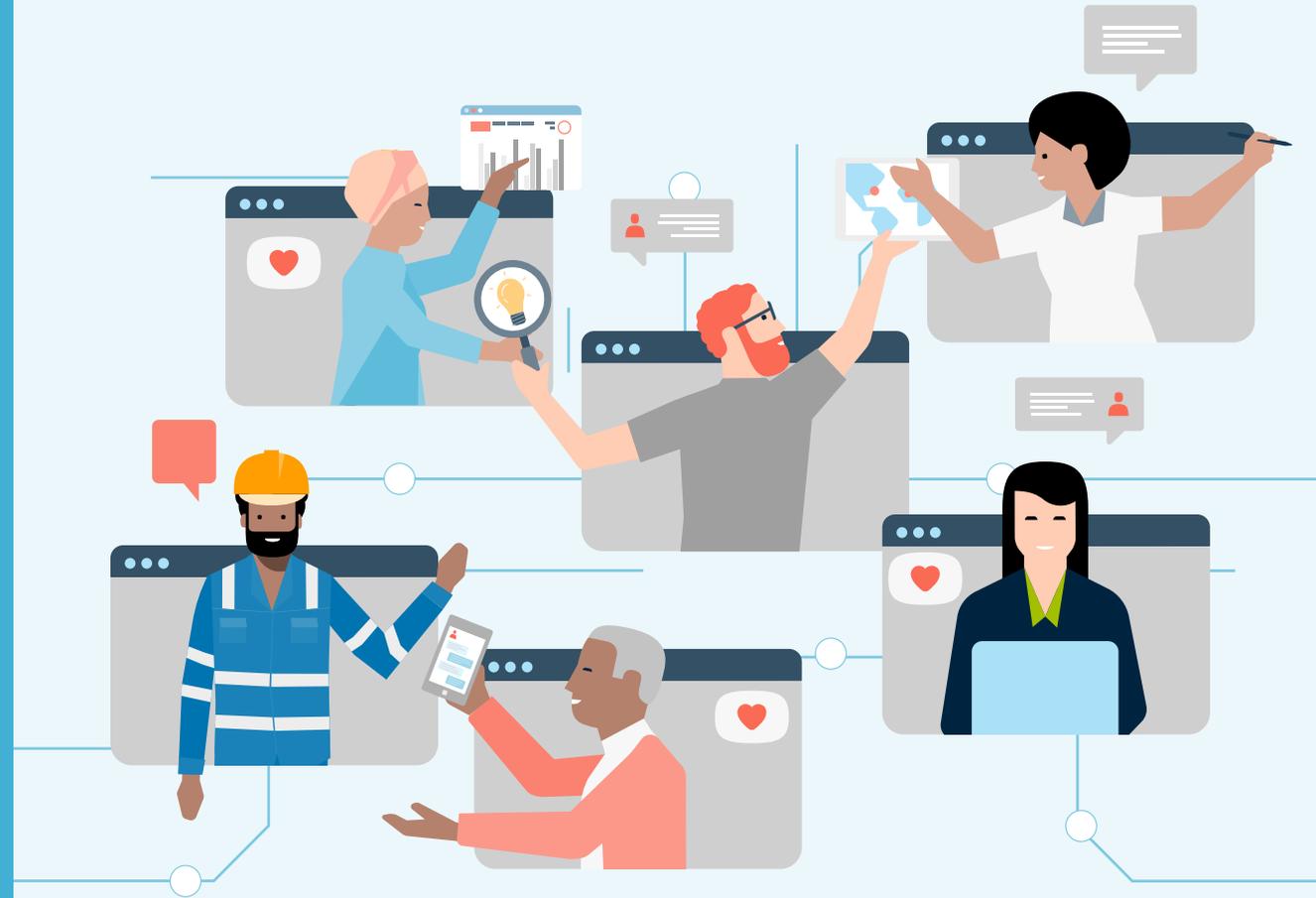
社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 雇用契約の条件に従うこと。
- 同僚に対しては、対面でもオンラインでも、相手を尊重した、差別的ではないやり方で行動すること。
- 差別、ハラスメント、暴力、いじめのない包摂性のある職場環境を促進すること。



法律を守り、 誠実に仕事をします

常に誠実に行動するという事は、マースクの中核となる価値観である「誠実」を通じて企業文化に組み込まれています。これは、私たちが約束を守り、正しいことをすれば、利害関係者は信頼してくれるということです。たとえ困難であっても、マースクでは適用される法律に常に従い、誠実に行動します。



汚職防止

汚職は違法行為であり、社会と企業に壊滅的な影響を与えます。また、これによって機会が減り、不平等が生まれます。マースクでは、汚職を一切容認していません。これは、「世界を統合して人々の生活をより豊かにしていく」というマースクの存在意義を含め、マースクが支持しているすべてのことに反するものです。マースクでは、汚職と闘い、私たちの事業に適用される汚職防止に関する法令に従うことを約束します。

マースクが最もリスクにさらされる汚職の種類は、**政府関係者**が関与する贈収賄ですが、取引関係においてもリスクは存在します。

賄賂とは、個人または職業上の利益のために、金銭、贈答品、金銭的価値のあるものを約束したり受け取ったりして相手に便宜を図り、不正な利益を得ることをいいます。賄賂は現金の場合もありますが、金銭以外の場合もあります。たとえば、不正な贈答品、接待、歓待、寄贈、資金提供、不正な割引、料金や手数料の免除、リベート、損金算入などが挙げられます。

マースクは、**ファシリテーション・ペイメント(利益供与金)**を含め、いかなる種類の賄賂も許容しません。

政府関係者

「政府関係者」という用語は、あらゆる政府団体、部署、機関、政府が手段として所有または一部所有している企業(いわゆる国営企業)、国際政府機関(国連など)に勤務している政治家、職員、従業員、およびその他の人物を広く対象としています。

ファシリテーション・ペイメント(利益供与金)

下位職の政府関係者に低額の支払い(現金または物品)を行うこと。何らかの方法で権限を得た日常的な行政活動を迅速かつ確実に遂行するために行われることが多いです。たとえば、政府関連書類の処理、順番を無視して列に割り込むこと、警察の保護を得ることなどがあります。

贈答品、接待、歓待

マースクは、取引関係を維持するために、贈答品、接待、歓待が利用されていることが多いことを認識しています。しかし、この贈答品、接待、歓待が、不正な利益を得るために相手に便宜を図ることを意図した、またはそのように見える場合、これは問題になります。これは、贈収賄とみなされる可能性があります。

そのため、マースクは、適切かつ妥当、そして社内の規程や規則に従っている場合のみ、贈答品、接待、歓待の授受を許可します。

なお、政府関係者との関わりについては、より厳格な規則が適用されます。

寄贈、資金提供、慈善寄付

寄贈、いかなる種類の慈善事業、政党、イベントであっても、それが政府関係者と関連がある場合は、寄贈、資金提供、慈善寄付を行う前にコンプライアンスチームの承認が必要です。

第三者

マースクは、他者がマースクを代理して行うことに責任を負います。マースクは、代理店、コンサルタント、顧問または仲介業者などの第三者を利用して、認められていない行為(賄賂や利益供与金の授受など)を行いません。マースクは、正当な事業上の必要性があり、身元調査の際に管理できないリスクが明らかになっていない場合にのみ、第三者との関わりを持つものとします。

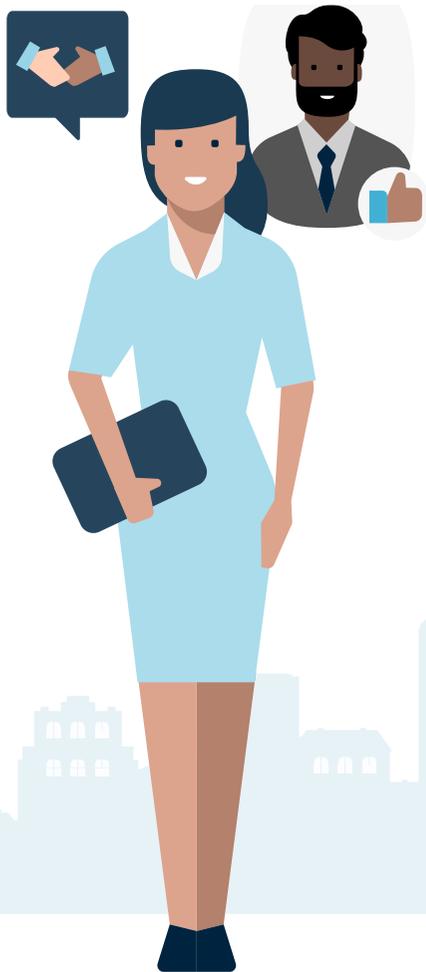
マースクは、マースクの代理としてサービスを提供したり事業を調達したりする外部の企業または個人が政府関係者と関係を持っている場合、特別な注意を払っています。前述の第三者と契約を交わす場合、マースクでは、締結前にその第三者の誠実性を評価するプロセスを踏みます。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 経営判断に不適切な影響を与える金銭や利益の供与、約束、または受領は行わないこと。
- 利益供与金の支払いを拒否すること。利益供与金が避けられない状況が発生した場合は、上司の事前承認が必要になります。身の危険を感じた場合はその支払いを行います。すぐに上司とコンプライアンスチームにそのインシデントについて報告すること。
- 贈答品、接待、歓待に応じる前に、マースクの規則と現地の規制に従っていることを確認し、必要に応じて必要な承認を得ること。
- 第三者(サプライヤーなど)に、マースクに代わって賄賂や利益供与金を授受するように依頼しないこと。
- マースクに代わって政府関係者と接触する第三者と関わる場合は、マースクが定めている第三者管理プロセスを踏むこと。



競争法の遵守



マースクは、業界における自由で公正な競争を支える世界の競争法を遵守して事業を行うことを約束します。そのため、マースクは、マースクの競争政策および事業を展開している各国の競争法への遵守を確保しなければなりません。

マースクは、価格操作、市場分割、顧客分割、談合など、競争を制限または歪める可能性のある違法な契約を競合他社と締結しません。競合他社と関わりを持つ場合、マースクの「**競合戦略情報**」を共有することは決してなく、競合他社が持つ同様の情報を受領することも決してありません。

マースクが特定の市場で大きな影響を与える市場支配力を持っている場合は、その市場支配力を利用して競合他社を排除したり、お客様やサプライヤーを利用したりすることを防ぐために、特定の行為が禁止されます。

競合戦略情報

競合戦略情報は企業秘密情報です。この情報は、競合他社が入手を試みなければ入手できない商業上の情報で、市場で予想される一連の活動に関する不確実性を減らすため、競合他社に戦略的優位性を与えてしまう可能性があります。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 競合他社に「競合戦略情報」を提供、要求、話し合いをしないこと。
- たとえば、合併事業、運用契約、および業界団体の会議などの状況下において競合他社と情報を交換する場合は、明確に定義された議題と詳細な議事録が提供されていることを常に確認すること。
- 競合戦略情報が共有または議論された場合は直ちに会議から退出し、会議の議事録に退出の旨を記載してもらうよう依頼しなければなりません。
- 取引の競争は常に単独で行い、お客様に対する価格と供給条件を設定します。
- 計画しているすべての合併、買収、売却、合併事業、および競争当局と予定している情報交換については、競争法・政策チームに審査と承認を依頼すること。
- マースクが大きな市場シェアを持っている地域では、製品提供と戦略策定を慎重に検討すること。疑問がある場合は、競争法・政策チームに必ず相談すること。



制裁と輸出規制

お互いに貿易ができるということは、経済や社会の発展にとって極めて重要です。しかし、それぞれの国には、輸出する商品やサービス、輸出先、輸出条件の管理に利害もあることから、制裁と輸出規制が行われます。

制裁

制裁とは、特定の国、事業体、個人との商取引を制限することです。

マースクはデンマークに本社を置き、デンマークは欧州連合 (EU) の加盟国であるため、マースクのグローバル事業には、EU制裁規則が常に適用されます。つまり、この制裁規則の対象となる関係者とは取引を行わないということです。マースクのグローバル拠点を考慮すると、私たちの事業には、EU以外の国内外の制裁規則が適用される可能性があります。たとえば、米国への関与を制限する米国制裁規則もまた、マースクが行う商取引の大半に適用されます。

特定の国については、厳しい制裁が課されている、あるいはリスクが高いことから、これらの国との取引には特に注意が必要です。これらの国とつながりのある関係者と協働する場合は、必ず事前にコンプライアンスチームと連絡を取ってください。厳しい制裁が課されている国、お

よびその他リスクの高い国のリストは、マースクのイントラネットに掲載されています。

制裁への遵守を確保するために、コンプライアンスチームでは、ビジネスパートナーや取引先の第三者を審査し、制裁対象となっているか、あるいは取引規制対象者リストに掲載されているかを確認しています。関係者が制裁を受けている場合、マースクではその関係を直ちに終了させる必要があります。また、このチームでは出荷の審査も行っており、制裁や輸出規制の対象となっている商品を受け取らないようになっています。対象商品の受け取りが発見された場合は適切な措置を講じ、取引を拒否して遮断します。

輸出規制

輸出規制とは、特定の国に特定の商品を輸出または移転することについて政府が課す制限や制約のことです。輸出には、輸出入許可証という許可が義務付けられている場合があります。また、特定の国への商品輸出が完全に禁止されている場合もあります。

マースクのサプライチェーンで輸出規制の対象となっている品目について、マースクの社員は必ずコンプライアンスチームに連絡しなければなりません。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょう？

- 関係者の本当の身元、または商品が実際には制裁対象者または制裁対象国に送られること、あるいはその商品は輸出規制対象であることを隠すために書類を改竄する人物には絶対に応じないこと。
- 厳しい制裁が課されている国 (または同国とのつながりがある関係者) との契約を締結する場合は、締結前に必ずマースクのコンプライアンスチームに相談すること。
- 自社使用の目的でサプライヤーから直接購入した軍需品および軍民両用物品については、コンプライアンスチームに通知すること。



利益相反

社員は、マースクの社員として職務を遂行し、会社の卓越性に貢献できる活動に従事する必要があります。利益相反が発生した場合、社員は職務を失う可能性があり、これによって、マースクの利益を最優先に考えて行動できなくなる可能性があります。

考えられる利益相反の例としては、副業で個人事業を営むこと、同僚との恋愛関係、友人や家族をビジネスパートナーや新入社員として採用することなどがあります。

利益相反に関連するリスクを防止、回避、管理することは、マースクの文化において不可欠なものであり、社員としての皆さんとマースクを罰金、イメージ悪化、法的リスク、利益と信頼の喪失から守るのに役立ちます。

利益相反が存在しているからといって、必ずしも問題となっている活動を回避または中止しなければならないわけではありません。多くの場合、対象の利益相反に関する情報の開示と、その相反を解決または管理するために行うその他の手順によって効果的に対処できます。



社員にとってこれはどういう意味なのでしょう？

- 利益相反の可能性がある場合は、マースクの社内手続きに従って申告すること。



パートナーや利害関係者とは責任を持って関わります

マースクは、数多くの外部パートナーやその他の利害関係者と接しています。たとえば、サプライヤー、政府関係者、市民社会、事業を展開している地域社会、労働組合や労働者の代表、お客様等と接しています。マースクは、これらのグループとの建設的な対話を信頼しており、責任を持って関わっていくことを約束しています。

彼らと関わる際、私たちはマースクの評判を守らなければなりません。そのため、マースクとマースクが事業を展開している業界における社内外の信頼を守るためには、社員とメディアの関係を効果的に維持することが重要になります。



政府 との仕事

マースクは、現地レベル、地域レベル、世界レベルで政府や当局と継続的に対話を行っています。政府や当局と仕事を行う場合、マースクは自分たちの立場に信念を持ち、メッセージは敬意を払って正直に発信します。これはまた、政府との関わりに関して定めているマースクの社内方針と、政府代表者との関わりに関する国の規制を遵守することも意味しています。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 通常の取引や業務に関しては、前述の内容を念頭に置き、必要に応じてマースク全体で調整を行いながら、政府や当局との関わりを続けることができます。ただし、大臣、大使、高官に関与する場合など、通常の業務範囲を超える場合は、予定されている関与の前に広報とコンプライアンスチームに連絡しなければなりません。

広報やコンプライアンスチームとやり取りする際は、汚職防止に関するガイダンスの最新情報を確認するようにしてください。

寄贈、慈善寄付、 資金提供、地域社会投資

マースクでは、合法的かつ透明性を持ったやり方で、事業を展開している地域社会との直接的な取り組みを奨励しています。

状況によっては、寄贈、慈善寄付、資金提供、地域社会投資を通じて地域の取り組みを支援することが奨励され、また適切である場合があります。ただし、取り組みが政府関係者または当局と関連する場合は、コンプライアンスチームの事前承認が必要です。

政党や候補者への寄付、いわゆる政治献金（選挙運動など）についてはすべて、広報チームの事前承認が必要です。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 政府関係者や当局に関連する寄付や寄贈を約束する場合は、事前にコンプライアンスチームに連絡すること。
- 政治献金や寄付を行う場合は、事前に広報チームに連絡すること。

ソーシャルメディアの 業務利用

マースクでは、オープンなやり取りと言論の自由が重要であると考えています。社員が社内チャネルや社外ソーシャルメディアで交流することを奨励しています。ただし、ソーシャルメディアへの投稿やコメントは、個人の見解を反映したものであり、会社のものではないことを常に明確にする必要があります。

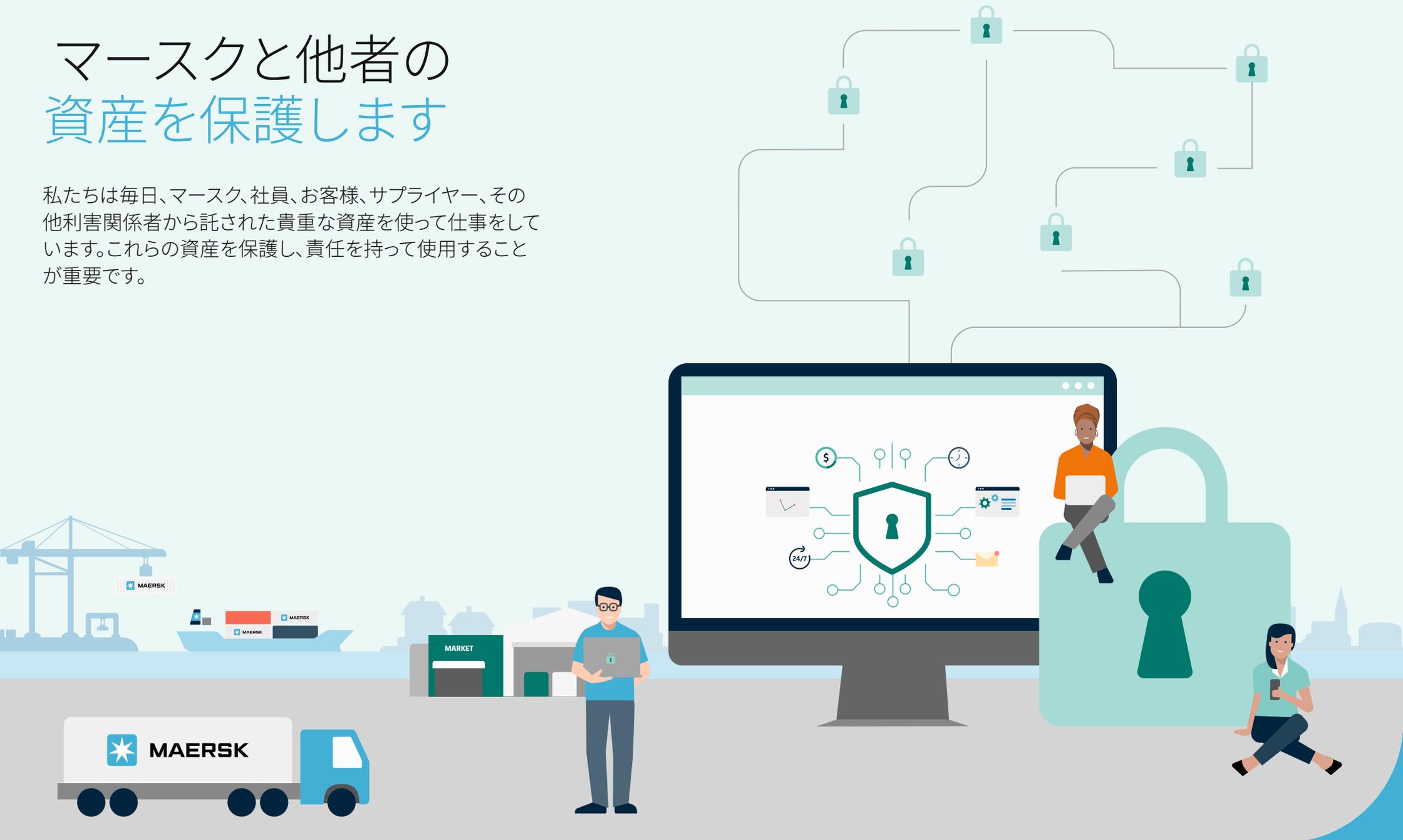
社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- ソーシャルメディアの利用に関連するリスクを回避するために、職場環境にいる場合と同じように、常識的なコミュニケーション感覚を活用すること。
- 外部のメディアとやり取りできるのは、許可された広報担当者だけなので、マースクについてメディアから連絡を受けた場合は、コミュニケーションチームに知らせること。
- Yammerはマースクの社内ソーシャルメディアチャネルで、オープンなコミュニケーションを受け入れ尊重するツールですが、丁寧に利用するようにお願いしています。対立した意見を交換する場合でも、建設的な態度を心がけること。



マースクと他者の 資産を保護します

私たちは毎日、マースク、社員、お客様、サプライヤー、その他利害関係者から託された貴重な資産を使って仕事をしています。これらの資産を保護し、責任を持って使用することが重要です。



データ倫理とデータプライバシー

マースクのビジネスモデルは、ますますデータとテクノロジーによる支援が必要になります。マースクでは、お客様、ビジネスパートナー、そして社員に革新的なソリューションを提供することに尽力しています。同様に、マースクではイノベーションを活用し、運用の最適化と新しい業界標準を推進することで、世界の持続可能性の課題にプラスの影響を与えます。

マースクのデータ活用は、グローバル社会のためにこれらのイノベーションをさらに推進するための基盤となるもので、まさにその中核となるものです。そのため、マースクではデータを慎重かつ法律に準拠した方法で取り扱っています。

マースクでは、透明性があり、利害関係者を尊重したやり方でデータが取り扱われていることを継続的に確保しています。利害関係者は、マースクが収集して共有するデータと、その利用方法を認識しています。マースクでは、正当な目的のために必要なデータだけを収集し、必要な期間だけこのデータを保存します。私たちは、関係法令に従ってデータを取り扱い、不正開示を防ぐために適切なセキュリティを確保します。

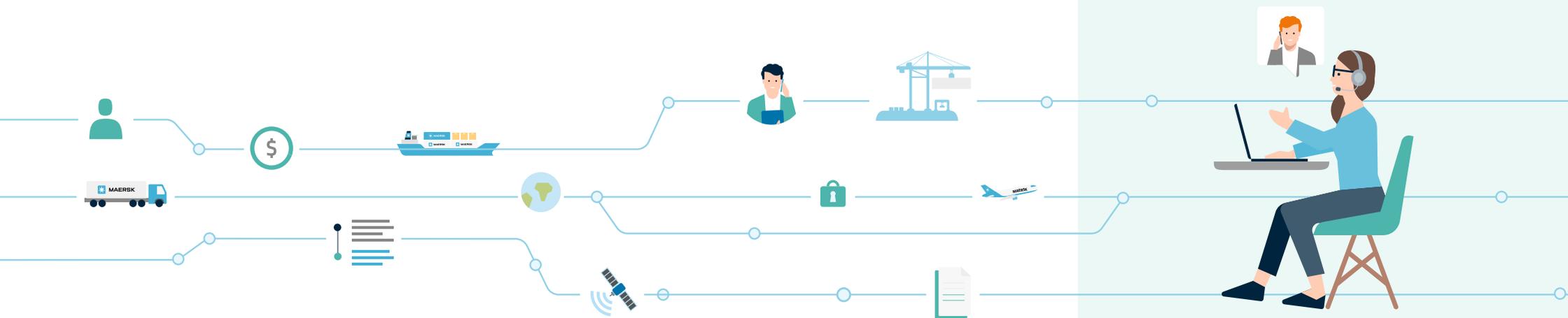
データプライバシー

個人のプライバシー権を尊重し、個人情報を倫理的に利用することは、マースクの業務遂行において中核となるものです。個人を特定できる情報は、個人情報とみなされます。個人情報の例には、身分証明書の内容、銀行口座の内容、年齢、履歴書、面接結果などがあります。

マースクは、EU一般データ保護規則をはじめとした、世界のデータプライバシーに関する法規制を遵守して個人情報を利用することを約束します。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 個人情報の利用は、許可された場合にのみ行うこと。
- それぞれの個人情報を利用する場合は、利用方法についての透明性を確保すること。
- 個人情報の利用は、通知している本来の目的でのみ利用すること。
- 個人情報の収集、利用、共有は、関連性があり、知る必要のある者だけが行うこと。
- 個人情報は正確かつ最新な状態で保たれていることを確認すること。
- 不要になった個人情報は削除すること。
- 個人情報は安全に保管されていることを確認すること。
- 正しく処理していることを文書化できるようにすること。



知的財産

知的財産とは、社名やロゴ、発明、設計、マニュアル、ソースコード、データベース、ノウハウなどの知的創作物のことを言います。例としては、新しいアルゴリズム、新しい推進システム、船舶の形状、ソフトウェアのユーザーインターフェースなどがあります。

知的財産は法的資産であるだけでなく、マースクのブランドを強化し、他社に対する競争上の優位性を得るためにも利用できる企業資産でもあります。

マースクは自社の知的財産を保護し、またその逆に、第三者の知的財産権を尊重し、故意に侵害しません。

マースクは、知的財産に関する情報を正当な事業目的を達成するためにのみ利用し、適切な事前承認なしに誰とも共有しません。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 発明の特許などの知的財産権に該当するかどうかについては、法務チームに問い合わせること。
- 第三者がマースクの製品、名称、ロゴを複製している疑いがある場合、あるいはマースクが第三者の知的財産を悪用している可能性があると思われる場合は、法務チームに通知すること。



環境を 保護します

マースクは環境保護に取り組むと同時に、持続可能なエンドツーエンドのソリューションを提供することにも尽力しています。私たちは自分たちのことを、海、陸、空で積極的に活動する地球市民だと思っています。マースクは、可能な限り害を与えないように事業を行うと同時に、マースクが事業を展開している地域にいる動物の生息環境の保護を含め、海洋や陸地の健全性と復元力の回復に積極的に参加することを約束します。



脱炭素化

世界は気候の緊急事態に直面しています。マースクは、業界のリーダーとして、また利用できるリソースを駆使して、可能な限り早くネットゼロの運用を実現させるためにできる限りのことを行うのが義務だと考えています。

マースクは、2040年にネットゼロ企業になることを目指して、科学に基づく大きな目標を設定しました。これには、マースクが海、陸、空で展開している全事業における温室効果ガス排出量の削減に対する具体的な目標や、お客様がネットゼロのサプライチェーンを実現できるようにするための取り組みが含まれています。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

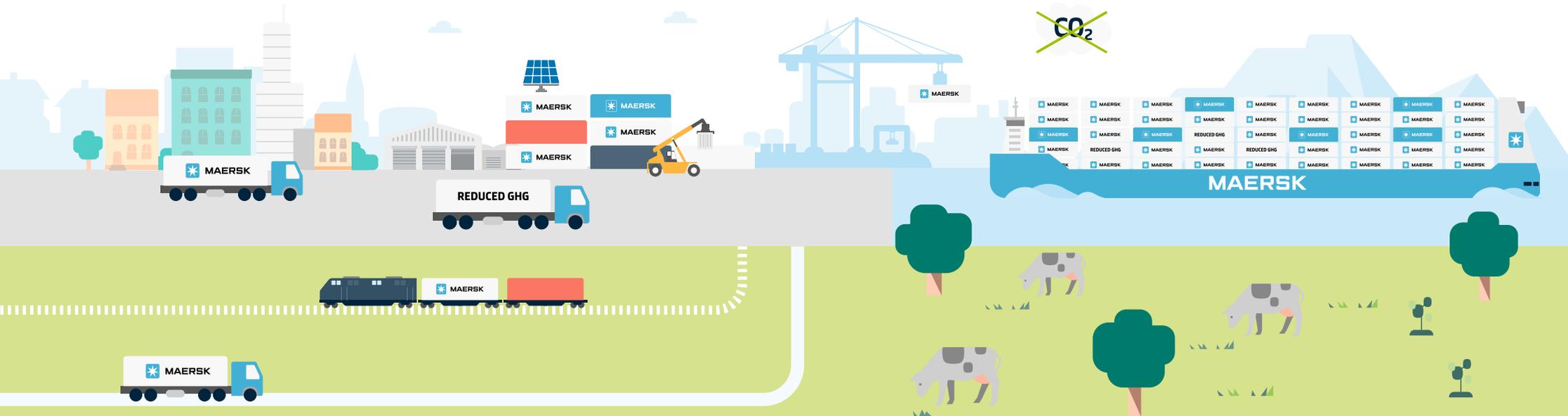
- 自分の地域で脱炭素化目標に貢献できる方法を模索すること。

生態系の健全性と生物多様性

陸地と海洋における生物多様性の喪失の深刻さに対する理解は進んでおり、マースクでは、生態系の健全性を守り、生物多様性を保護する既存の法規制に従うことを約束します。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 海洋や陸地の、敏感な地域または保護地域では事業は行わないか、または最小限に抑えること。
- 禁止野生生物や絶滅危惧種の輸送回避に貢献すること。
- 環境に関するインシデントがすべて報告され、適切に処理されていることを確認すること。



廃棄物と 汚染

マースクは日々の業務において、環境への悪影響を最小限に抑える、削減する、そして防止する運用が実践できるよう、常に注意しています。私たちは事業が環境要求事項に適合するよう、事業を現地の法規制に合わせています

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 海への流出を避けること。
- 海上でのコンテナ紛失事故防止に貢献すること。
- マースクの環境マネジメントシステムおよびグローバルポリシーで定められている指針に従うこと。

資源消費量の 最小化

マースクは、お客様にサービスを提供する上で必要な資源を最大限に活用するため、効率的な資源の利用、回収、リサイクルに全社を挙げて取り組んでいます。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 自分の地域で資源の利用効率を高める方法を模索すること。
- 機会があれば、資源の回収とリサイクルを支援すること。
- 水不足地域での淡水消費量を削減すること。

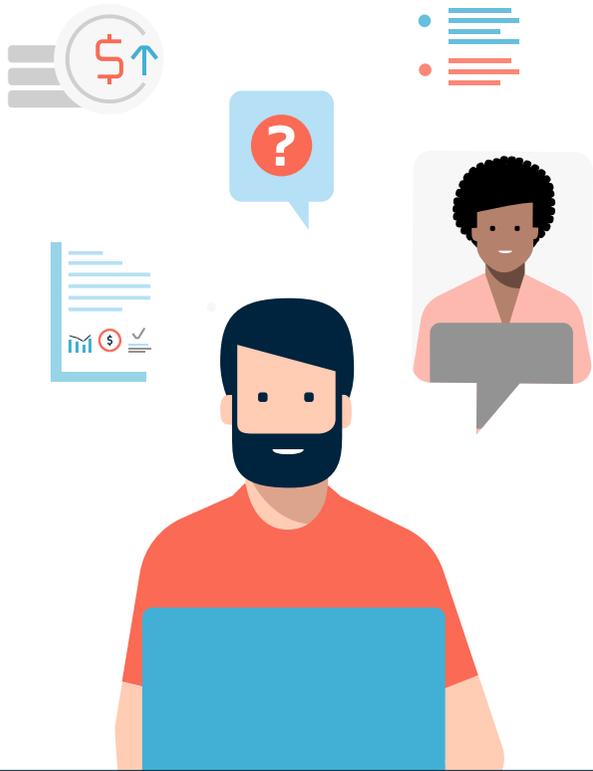


強力な財務管理を 維持します

財務の健全性は、マースクの事業と評判にとって重要なものになります。財務の健全性を確保するために、マースクでは強力な堅固な内部統制を導入および実施しています。



不正防止



マースクでは何千人もの社員を雇用しています。その社員の多くは、会社が保有する金融資産の一部にアクセスしたり管理したりすることができます。マースクの社員は、自身に託された資産を細心の注意を払って取り扱うよう心がけるものとします。

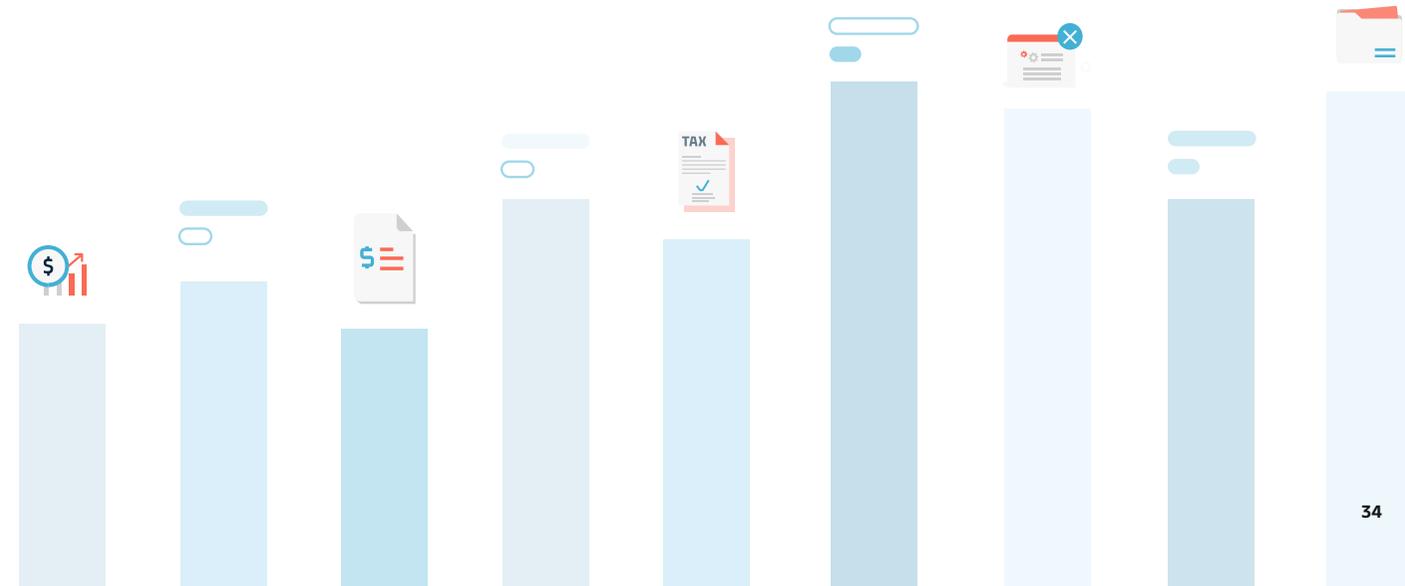
不正行為とは、直接的または間接的な私利を図ることを意図して、社員または委託先が意図的に行う欺瞞行為です。この行為には、窃盗、利益相反、記録の改ざんなどといった、さまざまな形態が考えられます。

不正行為は犯罪です。不正行為はマースクから資金や資源を奪うだけでなく、マースクの評判を落とし、長期にわたり費用のかかる調査に私たちを巻き込み、マースクが関わっている人々、社会、そして政府に損害を与える可能性もあります。

マースクでは、不正行為に対してゼロトレランス方式（断固とした措置）を適用しており、あらゆる形態の不正行為も真摯に受け止めています。私たちは、マースクまたはマースク内の事業体に影響を及ぼす可能性のある不正行為を防止、発見、調査することに努めていますが、この目標を達成するために全社員を頼りにしています。

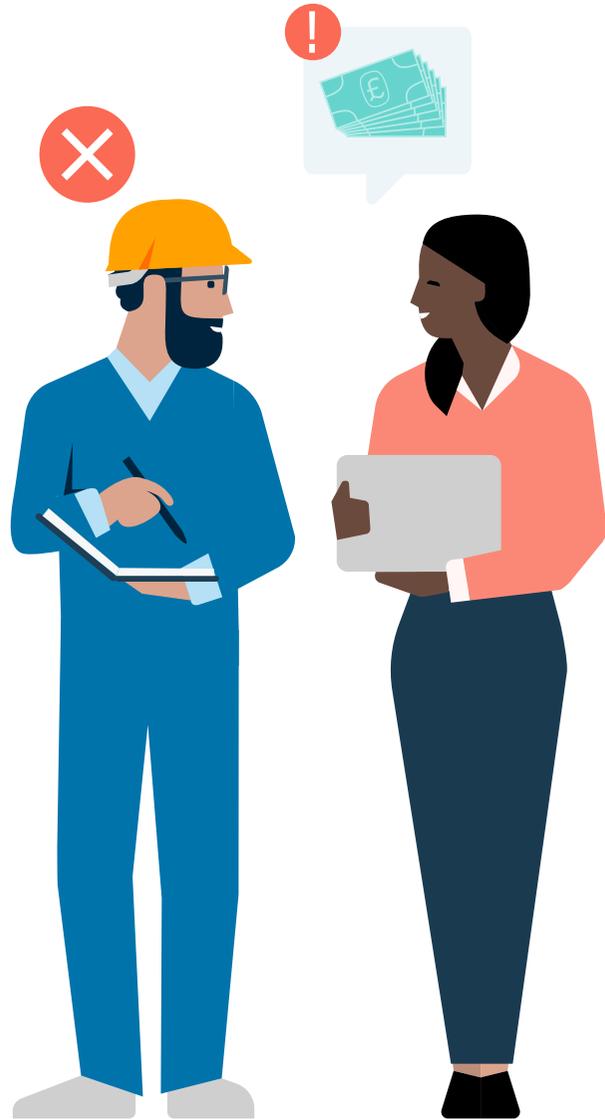
社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- マースクの価値観に従って行動し、託された金融資産やその他の資産は責任を持って取り扱うこと。
- 財務記録を提出する際は、正直であること。正確なデータを提供し、取引は適切な会計期間に分類すること。
- 利益相反の可能性がある場合は、マースクの社内手続きに従って申告すること。



マネー・ ローンダリング防止

インサイダー 情報



マースクでは、違法行為による収益は認めていません。そのため、見込み客やサプライヤー候補を把握していない場合は身元調査を行い、誠実さに関する懸念や資金源に関する懸念がある場合は指導を求めています。また、マースクでは、お客様やサプライヤーではない第三者に対して、またはその第三者から支払いを受けることはありません。ただし、法務チームによる事前承認を得ている場合は除きます。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 資金の出所が犯罪で得たものと疑われる場合は、直ちに行動を起こすこと。危険信号として考えられるのは、異常に高額な現金での支払い、取引関係にはないとすぐにわかる第三者からの入金、ビジネスパートナーが完全かつ本当の連絡先情報の提供を拒否することなどがあります。

マースクは、ナスダックコペンハーゲン証券取引所に上場している企業として、同証券取引所が発した規則、EU市場阻害行為規則、およびデンマーク証券取引法に従わなければなりません。

これらの規則は、証券取引所には正しい情報が提供され、インサイダー取引や相場操縦が行われないようにするためのものです。

インサイダー情報とは、企業の経営者などが持つ企業の非公開情報の中で、公表された場合は、証券の価格に重大な影響を与える可能性があります。

マースクの証券は公平な市場で取引されることが重要です。つまり、マースクまたはその他の上場企業（マースクのビジネスパートナーを含む）に関する機密情報は、合法的に知る必要のある人を除き、誰にも開示してはなりません。

社員にとってこれはどういう意味なのでしょうか？

- 非公開情報に基づいて、誰かに取引を行うよう誘引しないこと。

責任ある税務

マースクでは当社の「税務原則」に基づいて、税務を遂行、管理しています。これらの原則は毎年更新されており、グループのコアバリュー、行動規範、マースクの事業戦略と密接に関連付けられています。

マースクは、事業を展開するすべての国において、その国の福利に貢献するため、法令を遵守し、説明責任を果たす納税者となるよう努めています。マースクは、責任ある透明性の高い税務実務により、税務リスクと信用に対処しています。

従業員の皆さんにとっての意味

- マースクの税務原則に則り、実施されているグループタックスガバナンスプロセスに基づき、必ずグローバル税務チームと協力してください。
- プロジェクト、投資、契約、パートナーシップなどにおいて、(マースク、あなた自身、または第三者の)税制上のメリットを得るためだけの、人為的な仕組みや取り組みに決して関与してはなりません。
- 当局からの要請や法令に基づき、正確なデータを期限内に提供してください。
- グループの税務原則に違反する可能性がある場合は、社内手続きに沿って申告してください。



ALL THE WAY

注:

本文書は、英語版のマースク行動規範を翻訳したものです。本文書の解釈に疑義が生じた場合は、英語版に記載されている規則が優先されます。

A.P. Møller - Mærsk A/S

Esplanaden 50, DK-1098 Copenhagen K

+45 33 63 33 63

Company reg. no. 22756214

www.maersk.com